

ローランド株式会社

2022年12月期第1四半期決算説明会 Q&A 要旨

日時：2022年5月12日 13:00~13:40

説明者：取締役 CFO 杉浦俊介

Q1. ロシアのウクライナ侵攻に関する影響について教えてください。

音楽は平和に貢献する事業と考えていますので、道義的な観点での事業停止は考えていませんが、物理的には製品供給や資金決済が難しく、実質ビジネスはできない状況になっています。該当地域の売上規模としては、連結売上の1%内外と大きくありません。またロシア向けの製品は、需要の強い他地域へ再配分することで、売上をカバーすることが可能と考えています。

Q2. 中国のロックダウンに関する影響について教えてください。

販売については、物流停滞の影響で、ECでの購入も難しくなっており減速しています。生産については、一部材料入手が滞っていますが、それほど大きな影響は出ていません。

Q3. 中国政府による学習塾規制の影響について教えてください。

音楽教室は規制の対象外と聞いておりますが、やはり大々的な生徒募集などは抑制されているようです。その影響もあり、当社製品の売上にも影響が出始めています。引き続き趣味層への販売に注力していきます。

Q4. 2Q以降の生産の見通し、受注残の見通しを教えてください。

電子部品を中心に材料調達の制約がありますが、業績見込みを満たす生産量の確保は可能と考えており、受注残も徐々に減少させることができると考えています。

Q5. 物流の最新状況を教えてください。

船足は引き続き長い状況で、前期末からの大きな改善はありません。

Q6. 棚卸資産が増加していますが、要因を教えてください。

製商品在庫、材料在庫とも増加していますが、増加分の約半分は為替の影響になります。製商品については出荷タイミングのズレによる一時的な増加ですが、材料在庫に関しては引き続き安定生産のために確保を続けている状況です。調達環境が改善されれば減少していく見込みです。

Q7. 今期 1Q に実施した値上げの効果はいつごろから出る見込みですか？

2Q からは効果が出てくるものと考えています。

Q8. 上半期業績予想が保守的にも見えますが、考えを聞かせてください。

1Q は社内想定を若干上回る着地となりました。一方で為替動向、ロシア状況のヨーロッパ消費への影響、中国ロックダウンの影響など、計画立案時には想定していなかった事態も発生しており、不確実性が高い状況にございます。引き続き業績予想の達成に向けて取り組んでいきます。

※本資料は、ご出席者様から頂戴した主な質問をとりまとめたものです。回答の意図をより分かりやすくするため一部加筆修正を行っております

免責事項

本資料には、ローランド株式会社の現時点における予測に基づく記述が含まれています。

これら将来に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性その他の要因が内在しており、

当社における実際の業績と異なる恐れがあります。